

| | |
|------------------|---|
| Title | 殖民及び殖民地の意義 |
| Sub Title | |
| Author | 堀切, 善兵衛 |
| Publisher | 三田学会 |
| Publication year | 1910 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.3, No.5 (1910. 5) ,p.523(19)- 530(26) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 論説 |
| Genre | Journal Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19100515-0019 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論あること無論也)價值の概念は日本支那にも古くより發達し居たるものゝ如くなること。

乍去此の(五)の考は聊か *voreilig* なるを免れず。故は物價なる語は一般の成語にあらざれば、此に就て斯く一般の推察を下す可きならざればなり。されば予は進みて一般の成語の二三に就て、更らに日本若くは支那に於ける言語に表はれたる價值思想史の一端を窺ふ必要あるを感ずる者也。仍て稿を改めて價直等の名義の種々を考へんかと思ひたれども、未だ九通中の關係ある條々並に二十四史中の食貨志の條等すら卒業せざるものなれば、今回は之れにて筆を擱くことゝしたり

(四月末日記す)

殖民及び殖民地の意義

堀切善兵衛

殖民及び殖民地なる語は近來頻りに朝野人士の口にする所となりしも其正確なる意義に至りては尙未だ一定せざるが如し英語の *Colony* 佛獨語の *Colonie* は羅典語の *Colonia* より來る所にして此羅典語はホーム以外の農作地、所領地又は其土地に附隨したる人民の團體を指示したり、されば此 *Colonia* は北部歐洲諸國に傳はりて *Colony*, *Colonie* 又は *Kolonie* に化したるなりと雖も其本來の意義は母國を離れて他の新たなる土地に於て農耘に従事する人々の團體を意味したりしや知る可きのみ又希臘語の之に該當する文字は *ποικία* にして其意義は母國以外の居住地或は遠隔の地に存するホームの義に用ゐられたるなり。されど斯る古語の意味より推論して今日の所謂殖民又は殖民地の定義を定めんと欲するは頗る無理なりと云はざるを得ず何となれば今日は希臘羅馬の時代を去る既に遠く從て殖民又は殖民地なる語も必ずしも昔日と同一意味に使用せざるの常なればなり、

今近世殖民論に關する二三大家の定義を擧げんに Sir George Cornwall Lewis 氏は其著 Government of dependencies 中に於て述べて曰く

A colony properly denotes a body of persons belonging to one country and political community, who, having abandoned that country and community, form a new and separate society, independent or dependent, in some district which is wholly or nearly uninhabited, or from which they expel the ancient inhabitants. (同上三章頁一六八)

然れども此定義に大なる缺點の存するは既に本國より分離して獨立の一國家を組織するに至りたる人々の團體をも尙 Colony と稱することにして若し此言の如くすれば北米合衆國の如きも尙コロニーたるを免れざる可きなり。

次に牛津大學教授 H. E. Egerton 氏は其著 A short History of British Colonial policy 中に

For practical purposes, a colony may be defined as a community, politically dependent in some shape or form, the majority, or the dominant portions, of whose members belong by birth or origin to the mother country, such persons having no intention to return to the mother country,

or to seek a permanent home elsewhere than in the colony. (同上緒論頁八)

此定義は大體に於て當れりと雖も然も完全なりと云ふを得ず先づ此定義中最初に用ゐたる Colony なる文字と最後に用ゐたる colony とは同一の意味と認むるを得ず即ち初めは a community なりと稱し後には殖民地即ち土地の意味に用ゐたること明かなり、一定義中に一文字を二様の意味に使用するの不可なるは云ふまでもなく同時に單に或種の政治的關係に於て本國に從屬する人民の團體と云ふのみにては殖民と移民との區別明確ならず即ち布哇に於ける日本移民の如きも尙之を殖民と稱せざる可らざる可く又一方に於て本國に歸還する目的を有せざる外國居留地に於ける商人の如きも皆之を殖民と稱せざる可らざるに至る可し。同時に以上兩個の定義は英國大家の意見なりと雖も尙殖民地と其上に居住する殖民人とを混淆する嫌あり即ち Lewis 氏は a body of persons を以て又 Egerton 教授は a community を以て a colony なりと爲りたるは一面の眞理なきに非ずと雖も然も元來英語の colony は時としては殖民地の意味に用ゐられ又時としては殖民人の意味に用ゐられて兩様の意味を有すと雖も普通の用語に於て colony と稱す

る時は殖民地其物を指すの例なるが故以上の定義と扞格を來さざるを得ず、

試みに以上兩者と全く反對に colony を土地の意義に解したる例を擧げんと Sir H. Jenkyns 氏は其著 British Rule and Jurisdiction beyond the seas 中に於て曰く、

Colony is now a term both technically in acts of Parliament, and popularly, to include every British Possession except the Channel Island, Isle of man, and British India. (同上一章頁二二)

又ハーバード大學教授ドクトルマンロー氏は「殖民地とは海外に存在する或主權國の所屬領土の總稱にして其行政は本國より分離して行はるゝものを云ふ」と稱したり、蓋し普通の用語に於ける colony は殖民地を意味するものと解するを正當とす可く、殖民人に就きては colonist 又は Kolonisten の文字あり自ら兩者別個の意味を有するなりされば余は以上の諸説を參酌して殖民地の定義を左の如く下さんとす、

殖。民。地。とは本國以外に存する土地人民の結合にして其行政は本國より分離すと雖も尙或種の政治的形式に依り本國と結び附けらるゝものを云ふ。

此定義よりして殖。民。なる文字の意味は自然に生じ來る可し、即ち殖。民。とは一國

の人民が永住の目的を以て殖民地に移住することを云ふ。

此定義に示すが如く殖民地とは本國以外に在る土地と人民との結合なり從て土地のみ存在するも居住民を有せざる一國の所領地は殖民地なりと云ふ可らず例へば往年澳地利の探險隊の一行は北極に近く一氷島を發見し之をフランツ、ヨセフ島と命名し以て澳地利の所領に歸せしめたりと雖も之を澳地利の殖民地とは稱す可らず又居住民のみ存在するも土地を有せざれば之を殖民地とは稱す可らず例へば布哇及び加奈陀、カリフホルニア州等には多數の日本臣民住居し其或者は確かに永住の目的を以て住居しつゝありと雖も布哇其他は日本の殖民地に非らざることは云ふまでもなし我國の殖民に關する著書中にも殖民地の定義に關し甚だ漠然たる意味を述べたるもの多し例へば竹越與三郎氏は其著比較殖民制度に於て殖民地を以て「宗國權の延長なり」と稱したりと雖も前言せるが如く殖民地とは人と土地との合體なり決して權利と云ふが如き無形物には非らざるなり、殖民とは殖民地に本國民の移住する事實を云ふこと前述せる所の如し從て英獨人が合衆國に移住するが如きは殖民と稱す可らず純然たる移住なり即ち移民

とは同じく永住の目的を以て人民が住み慣れし古郷を去り他に移動する事實にして其意味は時としては外國に移動する場合を指し時としては一國內の甲地より乙地に移動する場合を指す又其廣き意味より云へば殖民も移民の一種には外ならざれども殊に殖民と云ふ以上は殖民地に移住する特定の場合のみを指すを可なりとす、

殖民は又之を遷移^{ミグレーション}と區別せざる可らず前述せるが如く殖民の背後には必ず母國あり殖民人は母國を離れて萬里の異域に其永住所を求むるものなりと雖も苟も其殖民地が政治上の獨立を遂げて本國と全然分離するに至らざる以上は本國との關係は絶對に斷絶するものに非ず然るに遷移の場合に於ては一種族全體若くは其大部分が本國を去りて他に移住するものにして彼等の念頭には最早本國なる感念存在することなし例へば猶太人種が埃及より遷移したるが如きロムバード人種の英國に遷移したるが如き皆本國の觀念を放棄して他國に移住したるものなれば之を殖民と稱するを得ず又種族の殆んど全員を擧げて移動したるの點に於ても決して之を普通移民と同一視す可らざるなり。

人或は殖民なる字義中には高度の文化を有する人民が低度の文化を有する土地に來りて之を開發し土人を教化する意味を含蓄す從て歐洲人が亞非利加に殖民すと稱するは可なれども支那人が米國に殖民すと稱す可らず何となれば支那人は米國人より文化の程度低きものなればなりと云ふものあり。此說一理無きに非らざるも然も缺點なき能はず蓋し支那人が合衆國に移住する事實を指して殖民と稱する能はざるは其理由他に存在すること前述の如くにして決して支那人の文化の發達が合衆國民に及ばざるが爲めなりと云ふに非らざればなり現に古來の歴史に於て文化の程度低き種族が其高きものゝ間に殖民したるの事實少ならず。

然れども斯の如きは寧ろ例外の場合にして普通は文化の程度高き國民が劣等人種に打勝ちて之を征服し之を高度の文明に誘導するの常にして殖民事業が世界各國より今日是認せらるゝは畢竟此の如くにして人類全體に對して利益を與ふるが爲めに外ならず現獨逸殖民大臣 Denning 氏曾て述べて曰く

Kolonisation, ganz gleichgültig, ob es sich um Plantagen oder ansiedlerkolonien handelt,

26 heisst Nutzbarmachung des Bodens, der Schätze, der Flora, der Fauna und vor allem der Menschen zu Gunsten der wirtschaft der kolonisierenden nation, und diese ist dafür mit der Gegengabe ihrer höheren Kultur, ihrer sittlichen Begriffe, ihrer besseren methoden verpflichtet.

(Norddeutsche allgemeine Eclairung. May. 18. 1908.)

流石は獨逸皇帝の眼識に適ひ銀行頭取より一躍殖民大臣を贏ち得たる人だけありて僅々數言の間に殖民の意義目的理想を遺憾なく述べ去りたるは感ず可し、殖民地の土地、草木、禽獸、財寶——就中其住民を本國民の經濟的利用の爲めに利用し同時に本國民は其進歩せる文物制度殊に其道德的感念を以て土民を誘導啓發し彼等をして文明の徳澤に浴せしむる之れ殖民の眞意義なり、韓國若くは南滿地方に於て徒らに權勢威福を張り然も賤業婦に戯れて、土民の間に輕蔑を招きつゝある我殖民地の大官諸公但しは韓人若くは支那人を鞭撻虐待して自ら喜ぶ我殖民人は果して殖民の眞意義を解するや否や。

英國の銀行準備金問題 (其二完)

堀江 歸一

四

英國に於て金準備増加問題を生じたる由來以上の如く、又此問題に對する各種金融機關の關係以上の如くなりとすれば、金準備増加の方法として、世間に傳唱せらるゝもの如何も大凡を推測に難からず。試に順次之を列記すれば、大略左の如しとす。

- (a) 英蘭銀行の保證準備制限を減縮すること。
- (b) 政府が保管する預金に準備金を備へしむること。
- (c) 英蘭銀行に第二準備金を保有せしむること。
- (d) 市中銀行をして營業報告を發表せしむること。
- (e) 英蘭銀行に於ける市中銀行預金殘高を公表せしむること。

27 以上五策の内、或は英蘭銀行に關係するものあり、政府に關係するものあり、市中銀行に關係するものあり。蓋し是等三者を外にして、金準備増加問題解決の衝に